

電源電圧監視用IC

2系統の電圧低下を監視！過電圧監視回路の追加も可能！！

RT8H182E

※仕様の詳細につきましては、データシートを参照ください。
https://www.idc-com.co.jp/pdf/jp/product/RT8H182E_J.pdf

量産中

□概要

RT8H182Eは、電源電圧の瞬断や低下を検出し、リセット信号を発生する電源電圧監視用ICです。
 5V電源のほか、任意に検出電圧の設定が可能な回路も内蔵しており、2系統の電源を監視できます。
 リセット解除時には遅延時間を設定する事も可能です。
 また、コンパレータを1回路内蔵しており、過電圧検出や、リセット出力の論理反転としての使用も可能です。

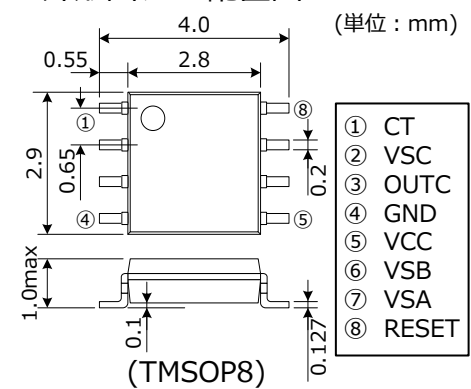
□用途

- アミューズメント機器
- 住設機器
- 産業機器
- OA 機器

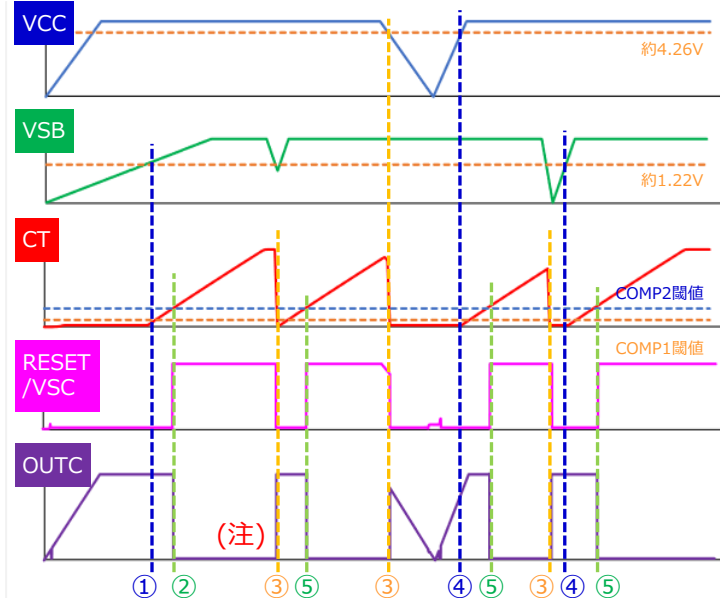
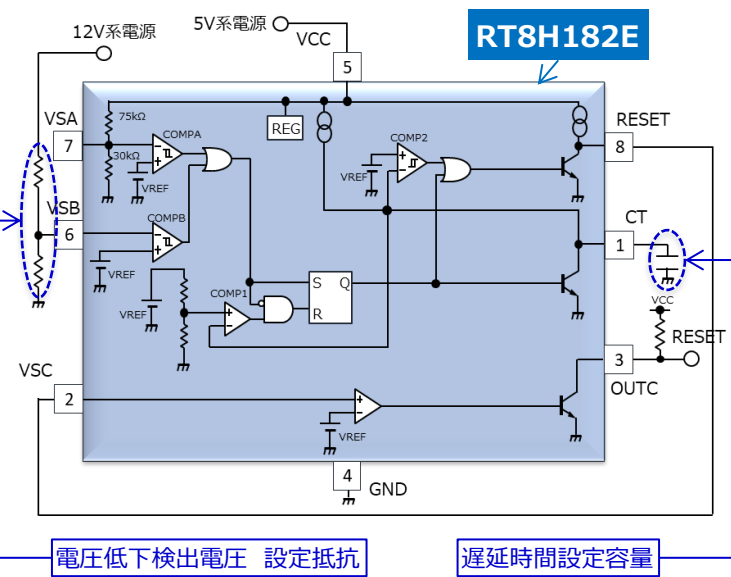
□特長

- 電源電圧低下検出 (VSA = 4.2V±4%)
- 外付け抵抗で任意電圧を設定可能な電圧低下検出 (VSB = 1.23V±4%)
- 解除時ヒステリシス特性付(VSA、VSBのみ)
- リセット解除時の遅延時間を任意に設定可能
- 過電圧検出回路等の構成が可能なコンパレータ内蔵 (オープンコレクタ出力)
- 低消費電流 (ICC=0.4mA標準@VCC=5V)
- 小型パッケージ (TMSOP8:2.9mm×4.0mm)

□外形図、ピン配置図



□応用回路例 (電圧低下監視5V・12V、RESET出力論理反転)・動作説明



- ① VCCとVSBがともに閾値を超えた状態になるとCT端子の容量が充電を開始する。
 - ② 充電中にVCCとVSBが閾値を下回ることなく、CT端子の容量が充電されCT端子がCOMP2の閾値を超えるとRESET信号を解除する。
 - ③ VCCまたはVSB端子が閾値を下回るとCT端子が放電を開始して、COMP2閾値を下回るタイミングでRESET信号を出力する。
 - ④ VCCとVSBがともに閾値を超えた状態になるとCT端子の容量が充電を開始する。
 - ⑤ 充電中にVCCとVSBが閾値を下回ることなく、CT端子の容量が充電されCT端子がCOMP2の閾値を超えるとRESET信号を解除する。以降③～⑤を繰り返す。
- (注) VCCまたはVSBが閾値を下回りCTが放電を開始すると、CT端子の電位がCOMP1閾値を下回るまで放電を継続する。COMP1閾値を下回ったときにVCCとVSBがHであればRSラッチにリセット信号が入力されCT端子の容量に充電が開始される。